

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎましょう

あなたの行動で日本の未来が変わります！

無症状や症状の軽い方が、本人は気づかずに感染を広めてしまう事例が多くみられます。南国市の未来のために今できる限りの行動を！

南国市新型インフルエンザ等対策本部 本部長(市長) 平山耕三

うつさんほうが 大事なんだ

©おかもとあつし



お年寄りや病人にうつされんきねえ～！

©おかもとあつし



啓発漫画提供：高知県中央東福祉保健所

親子クイズ 576

Q 瀬戸内海に関する問題です。次の問いにそれぞれ答えてください。

1. 瀬戸内海には外周が0.1 km以上の島はいくつあるでしょう？次から選んでください。

- ① 427個 ② 527個
③ 627個 ④ 727個

【第575回解答】

- ① B
② E
③ D
④ C
⑤ F
⑥ A

2. 香川県で一番大きな島はなんでしょう？

【第575回当選者】

長尾 くるみ (大浦甲)
片山 リカ (大浦乙)
小松 豪 (比 江)
下総 典子 (里改田)
山口 とも江 (緑ヶ丘)

■応募締切／5月8日(金)必着

■あて先／〒783-8501

南国市大浦甲2301

南国市企画課「親子クイズ係」

*はがきで応募

■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／63通

★正解率／98%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

一人じゃないと思うことで、人は想像以上に心強く、前向きになれる。それを実感したのは、子どもを生んでしばらくしてからのことだった。

私は、結婚して初めて高知県で暮らし始めた。夫は毎日多忙で帰りが遅かった。妊娠すると体調が良くなることができなくなった。結婚前は仕事などで忙しい毎日だったが、急に家の中だけで過ごす状態になると、同僚や友人、家族が恋しくなった。これから初めての育児が待っている。身内も遠い。ここで困った時には誰を頼ればいいのかと不安な気持ちになつていった。

そんな気持ちが拭えぬまま、子どもが生まれた。腕に抱いた瞬間、涙が溢れた。安堵の気持ち、幸福感、そして自分がこの子を、頼れる身内も近くにいない高知で育てられるのかという不安な気持ちが入り混じった。何とも言えない複雑な涙だった。

生まれた子どもはとても敏感だった。夜中は1時間おきに泣いた。昼間も抱いていないと寝なかった。やまと布団で寝てくれたと思えば、急いで家事に取りかかっても、皿を洗う音でまた起きて泣く、その繰り返しだった。ベビーカーも嫌がり、どこへ行くにも腕に抱いていた。まとまった買

一人じゃないと思うこと

い物には行けなかった。1時間でもいい。誰かに預け、この子と離れて横になって休みたい。そんな状況だった。

この疲弊した状況から抜け出すきっかけとなったのは、ベビーカーへの参加だった。参加して分かったことは、私と同じような状況のお母さんもいたことだった。その人に話を聞いてもらっただけで、心がスッと楽になった。共感してくれる人がいる。一人じゃないと思うだけで肩の力が抜け、前向きになった。子どもに対して「泣いてもいいよ」と思えるようになってからは、素直に可愛いと感じるようになった。

人は皆それぞれ悩みや苦しみがある。アドバイスよりも話を聞き、共感してくれるだけで、想像以上に心強く、前向きになれることを実感できた経験であった。これからも人との関わりの中で、人の気持ちに寄り添える自分でありたいと思う。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569

市民からのお便り

(親子クイズ)珍しい姓の方々がいらつしやいますね。地名も珍しい所があるので楽しいです。